

関係各位

グローバル・フォーラム代表世話人  
 公益財団法人 日本国際フォーラム理事長  
 伊藤 憲一

世界との対話  
 「ウクライナ危機後の欧州・アジア太平洋国際秩序と日本」  
 The Dialogue with the World  
 "The International Order in Europe and Asia-Pacific  
 after the Ukraine Crisis and Japan's Course of Action"  
 のご案内

グローバル・フォーラムは、日本と世界の各国、各地域の間で、相互理解と合意形成に寄与することを目的として政策思考の「対話」(Dialogue)を実施しています。そのような活動の一環として、このたび、公益財団法人日本国際フォーラム、米国大西洋協議会およびウクライナを代表する外交・国際問題シンクタンクであるThe Institute of World Policy (IWP)(註)との共催により、下記要領で世界との対話「ウクライナ危機後の欧州・アジア太平洋国際秩序と日本」を開催することになりましたので、ご案内申し上げます。(註) The mission of the IWP is to develop analytical research and implement project activities in order to promote European standards and practices inside Ukraine, as well as to increase support of the foreign opinion leaders, EU and NATO officials for the European and Euro-Atlantic aspirations of Ukraine. In order to implement this mission, the IWP develops analytical materials and conducts public events in two strategic areas: European integration and regional security.

2014年2月のロシアによるクリミア併合に端を発するいわゆる「ウクライナ危機」は、冷戦後の欧州のみならず、アジア太平洋を含む国際秩序全体に少なからぬ影響を及ぼしています。この「危機」を、第二次大戦後の国際社会の根本規範である「力による現状変更の禁止」への重大な挑戦とみる欧米諸国は、一方で、1997年のNATO＝ロシア基本文書の遵守を踏まえ、ロシアを決定的に追い込むことを慎重に避けながら、他方で、ロシアに対する経済制裁やNATOの集団防衛機能の強化等を通じて、ロシアにその態度の是正を迫っています。その対立の構図は、あたかも「新冷戦」ともいべき様相を呈しています。今日、国際社会における「ルール・オブ・ザ・ゲーム」は、重大な岐路に直面しているといっても過言ではありません。日本としても、改めて「ウクライナ危機」の投げかける問題の本質を見極め、世界各国とのより一層の緊密な戦略的パートナーシップを強化しつつ、世界および地域の平和と安定に向けた取り組みを一層深化させる必要があるといえます。

このような問題意識を踏まえ、本「対話」は、第1セッション「欧州からみたウクライナ危機」、第2セッション「ウクライナ危機がアジア太平洋地域へ及ぼした影響」、総括セッション「欧州とアジア太平洋の安全保障リネージュおよび日本外交への示唆」の3つのセッションを通じて、ウクライナ危機およびその国際的影響等について、日本、アジア太平洋および欧州それぞれの第一線の有識者が一堂に会し、縦横に議論を交わします。本対話は、出席者全員がパネリストに伍して自由に討論することを原則としておりますが、専ら聴衆として参加されることも歓迎致します。なお、当日は日本語・英語の同時通訳が入ります。

つきましては、ご出席をご希望の方は、11月22日(火)までに、下記フォームより①お名前、②ご所属、③お肩書き、④ご連絡先(①、②、③については日英両語で)など、必要事項をご記入の上、事務局宛にご応募ください。なお、会場収容能力を超える応募がある場合には、先着順で締め切らせて頂くこともあり得ますので、予めご了承ください。

記

世界との対話「ウクライナ危機後の欧州・アジア太平洋国際秩序と日本」  
 (別添:[プログラム](#)参照)

1. 日時:2016年11月25日(金)13:00-16:50

2. 場所:アイビーホール青学会館地下2階「サフラン」

(東京都渋谷区渋谷4丁目4番25号、電話:03-3409-8181)

**参加ご希望の方はこちらからお申込みください**

&lt;本対話に関する連絡先&gt;

グローバル・フォーラム事務局(港区赤坂2-17-12-1301、TEL:03-3584-2190)